

# 第10回 江山地区義務教育学校設立準備委員会

令和元年9月27日(金) 19:00

鳥取市立美和小学校 2階 多目的ホール

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 報告事項

### (1) 2部会の検討状況について

- ・教育環境整備部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
- ・江山の宝応援部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

### (2) 小中連携委員会の検討状況について・・・・・・・・・・別紙

## 4 議 事

- (1) 長寿命化改修・増築校舎について・・・・・・・・・・資料3
- (2) 校章の選定方法について・・・・・・・・・・資料4
- (3) 校章の選定について・・・・・・・・・・資料5
- (4) 校章入選者への副賞について・・・・・・・・・・別紙
- (5) その他

## 5 その他

## 6 閉 会

## 江山地区義務教育学校設立準備委員会委員名簿

区 分	役 職 等	氏 名	部 会	備 考	
1	地域代表	神戸地区区長会推薦	栗本 保夫	教育環境整備部会	委員長
2	地域代表	美穂地区区長会推薦	松本 広幸	教育環境整備部会	
3	地域代表	大和地区区長会推薦	中村 徹	江山の宝応援部会	
4	保護者代表	美和保育園保護者会	森田 匡隆	教育環境整備部会	
5	保護者代表	美和保育園保護者会	森下 将伍	江山の宝応援部会	
6	保護者代表	神戸小学校PTA会長	山本 賢璋	江山の宝応援部会	部会長
7	保護者代表	神戸小学校PTA副会長	坂本 訓子	教育環境整備部会	
8	保護者代表	神戸小学校PTA	牛尾 早知	教育環境整備部会	
9	保護者代表	美和小学校PTA会長	上田 光徳	教育環境整備部会	副委員長、部会長
10	保護者代表	美和小学校PTA副会長	有田 京子	江山の宝応援部会	
11	保護者代表	美和小学校PTA	前田 真琴	江山の宝応援部会	
12	保護者代表	江山中学校PTA会長	谷口 範仁	江山の宝応援部会	
13	保護者代表	江山中学校PTA副会長	石尾 万紀子	江山の宝応援部会	
14	保護者代表	江山中学校PTA	山本 敏夫	教育環境整備部会	
15	保育園代表	美和保育園園長	鈴木 知加	教育環境整備部会	
16	保育園代表	美和保育園副園長	太田 信子	江山の宝応援部会	
17	学校代表	神戸小学校校長	山根 啓嗣	江山の宝応援部会	副部会長
18	学校代表	神戸小学校教頭	梶浦 紀生	教育環境整備部会	
19	学校代表	神戸小学校教務主任	小谷 直和	(小中連携委員会)	
20	学校代表	美和小学校校長	安田 政彦	教育環境整備部会	副部会長
21	学校代表	美和小学校教頭	山口 尚子	江山の宝応援部会	
22	学校代表	美和小学校教務主任	田村 薫	(小中連携委員会)	
23	学校代表	江山中学校校長	橋本 伸一	教育環境整備部会	
24	学校代表	江山中学校教頭	長谷川 理恵	江山の宝応援部会	
25	学校代表	江山中学校教務主任	安木 良	(小中連携委員会)	

(事務局) 市教委事務局次長兼教育総務課校区審議室長 中村 隆弘

市教委事務局学校教育課参事 田中 浩史

市教委事務局教育総務課校区審議室主幹 竹田 潤

市教委事務局学校教育課主幹 福田 美奈

市教委事務局教育総務課校区審議室主任 大坪 宗臣

**第 8 回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について**

1 日 時 令和元年 9 月 10 日（月） 19 時 ～ 21 時

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員 11 名  
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員 2 名  
【傍聴者】 2 名

**4 報 告****(1) 長寿命化改修・増築校舎について**

副部会長より、8 月 26 日に開催された準備委員会委員有志による検討を受けて、基本設計の業者協議（3 回目）を行ったことが報告されました。報告事項は、以下のとおりです。

- ・少しでも広い部屋で高学年の生徒に学んでもらうことやブロック制を考慮して、8 年生教室を 9 年生教室の真下の 2 階の角部屋に移した。
- ・他校の配置状況を調査した結果、技術室は全ての学校で 1 階に配置されていることや、集塵機の設置を考慮して、1 階の角部屋を家庭科室から技術室に変更した。家庭科室は、特別教室棟の 2 階に配置してはどうかと考えている。
- ・長寿命化校舎棟については、以上の措置を講じることで、学校としては、日常の教育を十分に行えると考えている。
- ・増築棟については、8 月 26 日の検討を受けて、1 階に全校児童生徒が集えるスペースを設けてもらえないか業者に検討をお願いしている。これについては、学校としても優先度が高いと考えている。具体的には、ひとまず学校の敷地内に収めることを前提に体育館側にできるだけ拡張していただくようお願いしている。2 階以上には、特別教室を配置してはどうかと考えている。
- ・長寿命化改修校舎及び増築校舎について、間もなく業者の方で修正した図面が完成するとのことなので、これをもとに再度業者協議を行っていきたい。
- ・今後の工事スケジュールも見越して業者と基本設計の協議を進めており、できるだけ早く修正した図面もお示ししながら、準備委員会での検討を進めていただきたい。

報告を受けて、増築棟の修正した図面を見ながら、長寿命化校舎棟の中身を含めて検討していくこととしました。今月もう一度、部会を開催し、検討内容を 9 月 27 日の準備委員会で報告していくこととしました。

また、事務局より、基本設計のスケジュール感について、令和 4 年度完成を目指すことを考慮すると、現時点においても厳しい状況にあると説明がありました。また、基本設計が終わらないと全体の工事の規模も決定しないので、現時点で具体的な工期を示すことが難しいとのことでした。

ただ、部会としては、場合によっては工事の完了時期が遅延しても、長年の校舎利用を考えてしっかりと検討することも大切であると考え、次回以降も引き続き検討していくこととしました。

## 5 議 事

### (1) 校章について

全38点の応募作品の中から、委員1名につき5点を選び投票しました。その結果、4票以上獲得した上位7点の作品を、最終選考の候補として決定しました。

9月27日の準備委員会において、最終選考を行うに際し、次のような手順を踏んで選考することを決定しました。

- ・委員1名につき、3点を選び投票する。
- ・1回目の投票の上位3点について、委員1名につき1点を選び投票を行う。
- ・最も多かった案を校章デザインとして決定するが、全委員の過半数に満たなかった場合は、2回目の投票の1位と2位の間で決選投票を行い、決定する。
- ・決選投票でも同数であった場合は、準備委員会の委員の協議により、決定する。

なお、校章採用者又は入選者への副賞については、併せて準備委員会の中で検討していくこととしました。

## 6 その他

- ・次回の部会を、9月24日（火）19：00～20：30 江山人権福祉センターで開催。

## 第9回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について

1 日 時 令和元年9月24日（火） 19時 ～ 20時30分

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員11名  
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員4名  
【傍聴者】1名

### 4 議 事

#### (1) 長寿命化改修・増築校舎について

9月10日の部会で、副部会長より、準備委員会委員有志による検討を受けて基本設計の業者協議（3回目）を行った経過を説明していただきました。その後2回の業者協議を経て、案としてまとめた図面について以下のとおり報告いただきました。

(副部会長報告)

- ・学校としては、児童生徒教職員全員が集まれる空間を設けることは優先度が高いと判断し、プレゼンルームの面積を敷地境界いっぱいまで拡大してそのスペースを確保した。現在の多目的ホールの代替のような利用を考えている。現在の多目的ホールよりも80㎡程度広がる案としている。
- ・コミュニケーションルームも以前の案より拡大し、地域のコミュニティスペースとしてボランティアの方に利用していただいたり、放課後児童クラブの利用したりすることを想定し、湯沸しコーナーを設ける案としている。
- ・技術室は、前回の部会では長寿命化校舎の1階の端の位置にしていたが、できればもう少し広いスペースで木工作业等を想定して1階に配置できないか検討し、現在の図書室の位置に配置してはどうかと考えた。これに伴い、図書室は、現在の多目的ホールに移す。また、各階に少人数教室を1室ずつ確保できることになる。
- ・その他、十分な広さが必要な特別教室については、増築棟に配置して広さを確保することとしており、この程度の広さであれば日々の授業はできるのではないかと考えている。

報告を受けて、図面をもとに検討を行い、次のような意見が出ました。

(委員意見等)

- ・プレゼンルームの利用に際して十分な広さかどうかの判断が難しい。具体的にどの程度というのは言えないが、感覚的にもう少し広がれば良さそうである。
- ・農道側には設計上、いっぱい広げられている。また、教育委員会によると農道側に拡張することは、費用面や、諸々の手続きや手順を総合的に踏まえるとスケジュールも含めた見通しが難しく、敷地内に収めることを前提に検討してほしいと伺っている。
- ・渡り廊下の工夫で何とかならないか。増築棟をもう少し校舎側に拡張することができるのではないか。
- ・2階の吹き抜け部分に面した通路が若干広くなっており、プレゼンルームを見下ろせる案になっているが、このスペースをもう少し広げることができればより良いと

思う。

(部会長総括)

長寿命化改修・増築校舎の教室配置の方向性については、この図面を基本として進めていく方向で27日の準備委員会に提案する。ただし、教育委員会に増築棟についてもう少し長寿命化校舎側に拡張できるように渡り廊下の工夫を要望し、学校と設計協議を継続してもらうこととする。

## 6 その他

・次回の部会を、10月15日(火)19:00~20:30 江山人権福祉センターで開催。

**第 8 回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（江山の宝応援部会）概要について**

1 日 時 令和元年 9 月 11 日（水） 19 時 ～ 20 時 30 分

2 会 場 大和地区公民館

3 出席者 【委員】江山の宝応援部会員 9 名  
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員 2 名

**4 議 事****(1) 広報紙の内容について**

○「江山の明日」10月号のテーマについて協議を行い、次回の部会で詳細な内容について引き続き協議をすることとしました。

**(2) 学校応援組織について**

○最初に、事務局より、コミュニティ・スクールの仕組みについて下記のとおり説明を受けました。

その仕組みとは、学校長が指名する委員で構成される「学校運営協議会」で、学校運営の基本方針の承認を行ったり、学校や地域の課題について委員が議題を提起しそれを協議したりし、その大まかな方針を受けて地域住民等で組織される「地域学校協働本部」で、実際に課題解決に向けて活動を行うものであるとのことでした。実際に、湖南学園の「学校運営協議会」、「地域学校協働本部」設立に向けた取組をケーブルテレビの特集映像を交えて確認していきました。「学校運営協議会」については、平成 29 年 6 月から「学校評議員会」の中で検討が始まり平成 30 年 9 月に設置され、「地域学校協働本部」については、平成 30 年 12 月に設置され、十分な検討時間をかけて取組が始まったことが報告されました。

**【今後の進め方】**

「学校運営協議会」の組織づくりについては、委員を学校長が指名することになっているため、まずは、各学校長で設置に向けた検討に入っていただくこととしました。

「地域学校協働本部」の組織づくりについては、「江山の宝応援部会」の中で、既存のボランティア団体や学校支援組織を踏まえて検討していくこととしました。また、「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」をつなぐコーディネーター役についても検討していくこととしました。

**5 その他**

・次回の部会を、10月17日（木）19：00～20：30 大和地区公民館で開催。

## 最終選考方法(案)

## 【1回目の投票について】

第1次選考した7つの候補案から、全委員25名により委員1名につき、3つを選ぶ。  
その際、委員の考えを、結果により反映させるため、次のとおり傾斜配点を行うこととする。

## &lt;傾斜配点&gt;

第一候補…3点、第二候補…2点、第三候補…1点 とする

## (投票用紙見本)

	第一候補(3点)	第二候補(2点)	第三候補(1点)
番 号			

※投票は無記名で行う。

投票終了後、事務局が投票用紙を回収し、その場で集計し、順位及び得点結果を公表する。

## 【2回目の投票について】

1回目の投票結果の上位3つについて、2回目の投票を行い、順位を決定する。全委員25名により委員1名につき、1つを選ぶ。

ただし、下記(例)のような場合には、協議により、2回目の投票の対象として適宜加えることができるものとする。

(例) 1回目の投票結果で第3位と第4位以下の校章案の点数が拮抗している場合

1位 ○○(20点)

2位 △△(19点)

3位 □□(18点)←原則としてここまでを対象に2回目の投票を行う。

4位 ●●(17点)←ここを2回目の投票対象とするか協議を行う。

5位 ▲▲(15点)←ここを2回目の投票対象とするか協議を行う。

6位 ■■(7点)

⋮

⋮

## (投票用紙見本)

番 号	
-----	--

※投票は無記名で行う。

## 【校章案候補の最終決定について】

2回目の投票終了後、事務局が投票用紙を回収し、その場で集計し、順位及び得票結果を公表し、この結果をもって江山地区義務教育学校設立準備委員会の最終決定とする。

ただし、1位の点数が過半数に満たない場合は、1位と2位の間で決選投票を行い、決定する。

## 【その他】

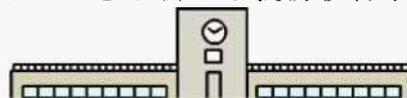
- ・第1次選考で漏れた校章案は復活させない。
- ・採用作品(最優秀賞)以外の入選(優秀賞)作品については、別途協議の上、決定する。

## 《校章デザイン募集要項》

- 1 募集項目 神戸小学校・美和小学校・江山中学校が統合してできる新たな義務教育学校「江山学園」の校章デザイン
- 2 応募資格 鳥取市江山地区に関心のある方
- 3 応募方法 応募用紙で、以下の事項に留意し、デザイン1点につき、そのデザインの説明を記入のうえ持参、郵送、電子メールのいずれかの方法で応募してください。(FAX 不可)
  - ① デザインに色を付けてもかまいません。
  - ② デザインは未発表のものに限ります。
  - ③ 応募作品は返却しません。
  - ④ 応募用紙には、必ず住所、氏名、年齢（学校名・学年）、電話番号を明記してください。
- 4 応募締切 令和元年8月30日（金）必着
- 5 選考・表彰 最優秀賞1点、優秀賞数点を選定（10月予定）し、入選者には副賞（記念品）を贈ります。
- 6 選考主体 江山地区義務教育学校設立準備委員会
- 7 その他
  - ① 選考結果は準備委員会の広報紙「江山の明日」、鳥取市ホームページなどで発表します。また、選定した校章デザインの著作権は鳥取市教育委員会に帰属します。
  - ② 校章デザインを選考主体で補作することがあります。
  - ③ 応募用紙は、神戸地区公民館、美穂地区公民館、大和地区公民館、神戸小学校、美和小学校、江山中学校、美和保育園、鳥取市教育委員会（校区審議室）から受け取れます。また、鳥取市公式ホームページ（校区審議室のページ）からもダウンロードできます。
  - ④ 応募者の個人情報、この募集に関すること以外には使用いたしません。ただし、入選したデザインの応募者については、結果発表において住所（市町村）、氏名、年齢を公表いたします。
- 8 応募先
 

【ご持参の場合】  
神戸地区公民館、美穂地区公民館、大和地区公民館、神戸小学校、美和小学校、江山中学校、美和保育園、鳥取市教育委員会校区審議室

【郵送・メールの場合】  
江山地区義務教育学校設立準備委員会事務局鳥取市教育委員会校区審議室  
〒680-8571 鳥取市上魚町39番地  
TEL：0857-20-3089 メール：kokushingi@city.tottori.lg.jp



### 【考慮していただきたいポイント】

江山学園のめざす子ども像は、「自ら学び、豊かに表現する子ども」、「思いやりの心を持ち、進んで人と関わる子ども」、「心も体も健やかにたくましく生きる子ども」です。

学校教育目標は、「学びを自らの生き方につなげ、未来を切り拓こうとする児童生徒の育成」です。

これらを踏まえたデザインのご応募をお待ちしております。